

農業体験・学習会で関心を高めよう！ 事業実施主体：わかやま市民生活協同組合（和歌山県）

- わかやま市民生活協同組合では、アイガモ米づくりや親子でサツマイモづくりなどの農業体験できる企画を実施するとともに、農業や食育の大切さを広げるため、広報活動により県下全域に発信している。
- 生産者だけでなく消費者も「環境に配慮した農林水産物・食品の選択」に関心をもってもらうために、生産・消費の両面から環境に配慮した農林水産業・食品に対する理解を深められる学習会を実施。

和歌山県



【取組の内容】

- 持続可能な農林水産業と持続可能な食につながる消費といった生産・消費の両面から理解を深めるため、「環境に配慮した食品」をテーマに学習会を開催。
- 紀ノ川農協の取組である「環境保全型農業」等、持続可能な農業について学び、食の循環や環境を意識した買い物の仕方など、私たち消費者が実践できることについて考え、学んだ。
- 講演会の模様はオンラインでも配信し、遠方の方でも参加しやすとした。



【講演会】SDGs！食から持続可能な地域について考えよう！
会場の様子

【取組の成果】

- 参加者からは、「地域の農業の現状が理解できた」「環境について組織としてできること、個人として支援できることが分かった」「値段が少し高くても誰かの笑顔になる買い物をしようと思う」といった声が寄せられた。
- 取組内容を活動報告書（約1400部）に掲載し、各地域の代表組合員や食品企業等の取引先に配布するとともに、総代会にて報告し役員に成果を共有した。

- 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ者の割合
現状値 67.1% → 取組実施後 87.8%

- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
現状値 65.3% → 取組実施後 95.0%

